

## 第 6 区

定数 28 名 候補者 28 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 宮地 鑑 2. 1962/7/2  
3. 北里大学医学部心臓血管外科  
4. 1987年3月 東京大学医学部医学科卒業  
2000年4月 神奈川県立こども医療センター医長  
2006年4月 北里大学医学部心臓血管外科准教授  
2010年8月 北里大学医学部心臓血管外科主任教授  
5. 心臓血管外科医の希望者、特に小児心臓外科医は激減しております。当学会代議員に選出されました暁には、小児心臓血管外科医である大学主任教授として、次世代の育成システムを構築したいと思います。  
6. 現職

1. 齋藤 綾 2. 1969/7/22  
3. 横浜市立大学大学院医学研究科 外科治療学教室  
4. '94年横浜市立大学医学部卒業、旧第一外科入局。  
'01年東京大学心臓外科教室へ異動、医学博士号（甲）、加臨床留學、同大学講師。  
'14年東邦大学（佐倉）心臓血管外科准教授。  
'23年現勤務先 主任教授。  
5. 外科医人口が減り労働環境の悪化が危ぶまれる中で、外科医が意識高く前向きに診療と科学を追求できるような環境づくりに努めていきたいと思います。  
6. 新任

1. 田中 邦哉 2. 1965/1/12  
3. 昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科  
4. 1989年福島県立医大卒、横浜市立大学研修医  
2007年横浜市立大学消化器腫瘍外科准教授  
2013年帝京大学ちば医療センター外科教授  
2018年昭和大学藤が丘病院消化器一般外科教授  
2023年同副院長  
5. 1990年の本会入会以来、専門医試験面接委員、英文機関紙査読委員、選挙管理委員など担当し微力ながら本会発展のため尽力して参りました。代議員に選出頂けましたら本会発展のため益々努力する所存です。  
6. 現職

1. 谷合 信彦 2. 1961/12/23  
3. 日本医科大学武蔵小杉病院  
4. 1988年日本医科大学卒業、同大学第1外科入局  
2005年同大学講師、2008年同大学准教授  
2018年同大学武蔵小杉病院消化器外科部長  
2019年同大学消化器外科教授  
2020年同大学武蔵小杉病院院長  
5. 大学病院院長、外科部長、さらに川崎市病院協会理事として地域の医療体制充実を図っております。4年間、日本外科学会代議員を勤めてきました。今後も日本外科学会発展のためにお役に立てるよう努めてまいります。  
6. 現職

1. 伊藤 宏之 2. 1968/3/6  
3. 神奈川県立がんセンター  
4. 1993年横浜市立大学研修医  
95年横浜南共済病院外科  
96年国立国際医療センター呼吸器外科  
98年平塚共済病院  
2002年横浜市立大学市民総合医療センター  
05年神奈川県立がんセンター呼吸器外科  
5. 心臓、呼吸器、消化器と幅広い分野を経験しております。呼吸器外科の技術向上、学術研鑽に加え、多くの若い外科医を一人前に育ててきました。その経験を生かし、外科学会の発展に貢献し、教育に邁進する所存です。  
6. 現職

1. 岩崎 正之 2. 1960/2/7  
3. 東海大学医学部外科学系呼吸器外科学  
4. 1984年東海大学医学部卒業、同大学院修了後、同外科学1助教、専任講師、呼吸器外科准教授、呼吸器外科診療科長、2009年東海大学医学部外科学系呼吸器外科教授、2019年東海大学医学部附属病院副院長  
5. 胸部外科を主体に地域の医療連携と後輩の教育指導にあたって来ました。特に胸腔鏡下手術の技術普及に尽力して来ました。ロボット支援下手術の普及と地域医療に貢献できるような外科医の育成を進めたいと考えます。  
6. 現職

1. 増田 良太 2. 1972/12/19
3. 東海大学医学部付属病院 1号館8階呼吸器外科医局
4. 1999年東海大学医学部医学科卒業。現職；東海大学医学部外科学系呼吸器外科学教授。日本医学教育学会「臨床実習前医学教育部会」ならびに「若手による医学教育とそのキャリア支援部会」部会員。
5. 後輩医師と共に成長していく過程において外科医の増加を目指して参りました。引き続き、若手医師のみならず医学部生に外科学の魅力を伝えていくことで本学会の繁栄に貢献できるよう尽力していく所存です。
6. 現職

1. 利野 靖 2. 1959/6/3
3. 横浜市立大学附属病院
4. 1985年横浜市立大学医学部卒業。1987年横浜市立大学医学部第一外科入局。2019年2月横浜市立大学附属病院消化器・一般外科診療教授、消化器・一般外科部長、呼吸器外科部長、乳腺・甲状腺外科部長。
5. 食道、胃の上部消化管が専門。ロボット支援手術は当大学での導入時より携わっている。外科医の減少に対しても、毎年10名以上の外科医をリクルートしてきており、手術を通して、外科医の育成に、注力していきたい。
6. 現職

1. 内藤 剛 2. 1965/5/23
3. 北里大学医学部下部消化管外科学
4. 1990年東北大学医学部卒業  
1995年より米国クリーブランドクリニックにて低侵襲手術を学ぶ  
2013年より東北大学大学院消化器外科学分野准教授  
2020年より北里大学医学部下部消化管外科学主任教授
5. 大腸癌の低侵襲治療ならびに減量・代謝改善手術を専門として、安全な手術の普及と患者さんに寄り添った診療、グローバルな視点に立った研究・教育を進めていきたいと考えます。
6. 現職

1. 中川 基人 2. 1962/6/6
3. 平塚市民病院
4. 秋田大卒、慶應大外科入局、医学博士、副病院長、外科専門研修プログラム統括責任者、外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、内視鏡外科技術認定医、救急科専門医、日本外科学会研究奨励賞（2013年度）
5. 地域の基幹病院勤務医の立場から日本の外科学における診療・教育・研究を見極め、これを高めていくための代議員活動に全力を注ぐ決意でおります。併せて適切な医療経済と働き方改革の実践に努める所存でございます。
6. 現職

1. 山本聖一郎 2. 1964/10/11
3. 東海大学医学部
4. 1991 慶應義塾大学病院 1997 栃木県立がんセンター 2000 慶應義塾大学医学部助手 2001 国立がん研究センター中央病院 2013 平塚市民病院外科 2019 東海大学消化器外科教授
5. 私は現在、東海大学病院で、患者に寄り添う外科医師の育成を目標に診療と教育、研究指導に励んでおります。基盤学会である日本外科学会の代議員として、若手外科医の育成、本学会の発展に貢献していく所存です。
6. 現職

1. 長 泰則 2. 1965/6/25
3. 東海大学医学部付属病院
4. 1990年 慶應義塾大学医学部 卒業 1998年 慶應義塾大学医学部心臓血管外科 チーフレジデンス修了 2009年 東海大学医学部心臓血管外科 准教授 2015年 東海大学医学部心臓血管外科 教授
5. 主に後天性心臓・大血管疾患の手術（特に虚血性心筋症に対する左室形成術、僧帽弁手術）に従事。将来の日本外科学会を担う若手外科医育成のため、専攻医研修制度の充実、医療安全に尽力したいと思います。
6. 現職

1. 北見 明彦 2. 1961/10/6
3. 昭和大学横浜市北部病院
4. 昭和62年3月昭和大学医学部卒  
同年4月 昭和大学藤が丘病院外科入局  
平成15年 昭和大学横浜市北部病院呼吸器外科講師  
平成18年 同 准教授 平成30年 同教授  
令和2年 同 呼吸器センター長
5. 微力ながら、外科学会の更なる発展のために尽力させていただきます。
6. 新任

1. 佐藤 道夫 2. 1961/9/9
3. 国際親善総合病院
4. 1987年慶應義塾大学医学部卒業  
1994年国立霞ヶ浦病院  
1999年MGH留学  
2002年水戸赤十字病院  
2008年東京歯科大学市川総合病院准教授  
2018年国際親善総合病院副院長
5. 外科学の発展普及は基より、超高齢化社会を迎えて外科医の役割、働き方改革、女性医師の職場環境改善、その他地域医療の抱える諸問題に対して、これまでの経験を活かして取り組んでいきたい。
6. 新任

1. 比企 直樹 2. 1962/12/15
3. 北里大学医学部 上部消化管外科学
4. 1990年北里大学医学部卒  
1990年東京大学医学部附属病院分院第3外科学教室  
2005年がん研究会有明病院消化器外科  
2019年北里大学医学部上部消化管外科学 主任教授  
2021年北里大学病院副院長
5. 日本外科学会という外科医の基盤学会において専門性を超えて協力・連携し、外科医不足への歯止め、専門医教育の標準化等、学会の発展の礎を築くべく、浅学非才な身ではありますが誠心誠意努めていきたいと存じます。
6. 現職

1. 湯川 寛夫 2. 1967/8/31
3. 横浜市立大学 外科治療学
4. 平成4年浜松医科大学卒業.  
平成6年横浜市大第一外科入局.  
平成19年から消化器・一般外科准教授.  
日本外科学会専門医/指導医  
日本消化器外科学会専門医/指導医
5. 上部消化管を中心とする消化器・一般外科を担当しております。当施設の外科専門研修プログラムにも携わり若手教育にも取り組んでおります。
6. 現職

1. 大坪 毅人 2. 1959/7/13
3. 聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科
4. 1986年聖マリアンナ医科大学卒業。東京女子医科大学消化器病センター外科での修練後、2004年10月より聖マリアンナ医科大学消化器外科教授。2020年より聖マリアンナ医科大学病院長を兼務。
5. 1. 医療安全を重視し、社会の変化に適応できる外科医を育成すること。2. 外科として提供できる医療の質を担保しつつ、働き方改革に適応した外科医の労働環境を整備すること。
6. 現職

1. 隈元 雄介 2. 1966/1/10
3. 北里大学病院
4. 1990年慶應義塾大学を卒業、川崎市立川崎病院、済生会神奈川県病院、平塚市民病院で研鑽を積んできました。2010年から北里大学病院に異動し、2019年より一般小児肝胆膵外科教授を拜命しています。
5. ●安全確実低侵襲な肝胆膵外科手術の確立と教育。●若手外科医の多様化した目標に対応するキャリアパスの策定。●ライフワークバランスのとれた職場環境の確立。●女性肝胆膵外科医の育成。上記を目指します。
6. 現職

1. 小柳 和夫 2. 1967/7/12
3. 東海大学医学部・消化器外科
4. 食道疾患に関する臨床と研究を中心に活動してきました。胸腔鏡やロボットなどの低侵襲外科手術を専門として、日本癌治療学会理事、日本食道学会理事、JCOG 食道癌グループ代表委員などの活動をしています。
5. これまでの経験を活かして、微力ですが日本外科学会に貢献したいと考えています。また、外科の魅力を学生や研修医に伝え、そして一人でも多くの若手外科医の育成に責任を果たしたいと考えています。
6. 新任

1. 菅沼 伸康 2. 1971/8/19
3. 横浜市立大学附属病院
4. 平成 10 年 横浜市立大学卒業  
平成 12 年 横浜市大第一外科入局  
令和 2 年より横浜市大附属病院乳腺甲状腺外科勤務  
日本外科学会専門医/指導医  
日本乳癌学会専門医/指導医  
日本内分泌外科学会専門医/指導医
5. 乳腺内分泌外科領域を担当しております。日本外科学会の代議員としての活動を通して、外科の発展のために微力ながら貢献してまいりたいと存じます。よろしく願い申し上げます。
6. 新任

1. 津川浩一郎 2. 1963/2/22
3. 聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学
4. 1987 年金沢大学卒。1997 年金沢大学医学部附属病院外科助手、2005 年聖路加国際病院乳腺外科医幹・副医長、2010 年から聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科学主任教授、同附属 B & I センター長兼任。
5. 日本ならびに神奈川県で働く外科医、乳腺・内分泌外科医を増やし育てることが目標です。本学会では専門医認定委員会委員などを担当しました。引き続き日本外科学会の発展に尽力させていただきますと思います。
6. 現職

1. 秋山 浩利 2. 1962/9/2
3. 横浜市立大学消化器・腫瘍外科学
4. 1988 年札幌医科大学卒業。1990 年横浜市立大学第二外科入局。1998 年横浜市立大学消化器・腫瘍外科学助手。2005 年同講師。2007 年同准教授。2017 年同診療教授。2018 年日本外科学会代議員
5. 日本外科学会代議員就任後、外科医不足の対策として外科専攻医および初期臨床研修医の教育に粉骨砕身の思いで取り組んできました。さらに医学部教員として医学生に外科の魅力を伝えていきたいと思っています。
6. 現職

1. 佐治 久 2. 1969/5/19
3. 聖マリアンナ医科大学
4. 1995 年 岐阜大学卒業  
2003 年 スタンフォード大学留学  
2009 年 東京医大 外科一講座 講師  
2013 年 聖マリアンナ医大 呼吸器外科 准教授  
2018 年 同 教授  
2022 年 同 主任教授
5. 2020 年に代議員に選任。英文誌編集委員会一員となる。外科学及び呼吸器外科における編集・査読など多くを手掛けてきた。引き続き世界レベルの研究成果の発信に貢献したいと考え、立候補させて致しました。
6. 再任

1. 民上 真也 2. 1966/11/13
3. 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科
4. 1992 年 3 月 聖マリアンナ医科大学医学部 卒業  
1992 年 6 月 聖マリアンナ医科大学 第 1 外科入局  
2020 年 4 月 聖マリアンナ医科大学 消化器・一般外科 部長  
2023 年 7 月 同 教授
5. 医療安全を重視して、安全な治療が提供できるような外科医の育成に努めて参りたい。さらに、「医師の働き方改革」のシステムの構築により、勤務体制の構築や労働環境の整備を行い、魅力的な環境を整えていきたい。
6. 新任

1. 新開 統子 2. 1965/10/31
3. 聖マリアンナ医科大学
4. 1991年 聖マリアンナ医科大学卒業 2003年アイルランドダブリン小児医学研究所留学 2010年 筑波大学小児外科講師 2022年 聖マリアンナ医科大学小児外科准教授
5. 日本外科学会において女性会員の増加が顕著であり、女性外科医が継続してキャリアを発揮できる環境整備が重要です。家庭を持ち子育てを経験した小児外科医として、本学会の発展に尽力したいと考えております。
6. 新任

1. 國崎 主税 2. 1958/7/14
3. 横浜市立大学附属市民総合医療センター  
消化器病センター 外科
4. S59 横浜市立大学医学部卒業  
H6 同第二外科助手 H11 同講師  
H13 消化器病センター外科講師 H17 同准教授 H20 同教授  
H27 同副病院長 H30 がん包括センター部長 R2 外科系経営参与  
R3 がんゲノム診療科部長
5. 若手外科医の減少に適切な対策を講じ、外科学の発展に貢献できる若手医師の育成に精一杯尽力します。とくに、globalに活躍できる外科医の育成が重要と考え、国際力を身につけられるように指導、教育します。
6. 現職

1. 遠藤 格 2. 1960/6/12
3. 横浜市立大学消化器・腫瘍外科学
4. 1985年、横浜市立大学医学部卒業  
2009年、当教室主任教授就任  
2018年、横浜市立大学理事・副学長  
日本消化器外科学会理事（2015年～2020年）、日本肝胆膵外科学会理事長（2020年～）
5. 外科治療成績の更なる改善のために新知見を探究するとともに世界と伍する次世代の外科医育成に注力したいと思います。また、共働き外科医が生き生きと仕事ができるように集約化と待遇改善に尽力したいと思います。
6. 現職

1. 小林美奈子 2. 1971/8/5
3. 日本医科大学武蔵小杉病院
4. 1996年三重大学第二外科入局  
2002年三重大学先進医療外科学助手  
2012年同講座講師  
2018年防衛医科大学校病院医療安全・感染対策部講師  
2021年日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部臨床教授
5. 外科感染症だけでなく新興・再興感染症を含めた感染症全般の対応を通して、神奈川県や日本外科学会に貢献できるよう今まで以上に精進して参りたいと思っております。
6. 新任